

令和5年度 事業報告

1 事業概要

令和5年度の日本経済は、ロシア・ウクライナ戦争の長期化や欧州経済の低迷に加えて大幅な円安の進行、イスラエル・ハマス戦争などのかく乱要因も加わり、脱コロナを原動力とする景気回復は道半ばで終わったと言えます。

又、身近では稲村前理事長の急逝や新たに決まったインボイス制度導入など当センターの事業運営に多大な影響を及ぼす事案など、その対応に苦慮した1年でありました。

この様な状況下でありながら、事業の担い手となる会員数は、在籍会員による入会斡旋や各種の対策の効果により、入会者は41名となりましたが、病気・高齢などによる退会者が58名となったため、17名の減員となり、目標数510名に対し、473名の会員数となりました。

60歳以上の町人口に対する会員数の割合、粗入会率は8.6%（60歳以上の町人口5,494名に対する会員数473名）と、会員数に対する女性会員の割合は44.1%となり、京都府内ではもちろん、全国においてもトップクラスに位置付けとなっています。これも皆様のご理解・ご協力によるものと感謝いたしております。

事業実績におきましては、悪条件の影響を大きく受けながらも、受託事業（請負・委任）が2億1千320万円余り、派遣事業は4千307万円余り、両事業併せ2億5千627万円余りとなり、対前年度比1千115万円余りの増収で、104.5%の達成となりました。

これは16年連続で前年度を上回るもので、毎年確実に成長を遂げており、今後も成長を維持するためには、更なる努力が必要です。

また、安全就業において「無事故」を目指しておりましたが、昨年度より4件増え、9件の事故が発生しました。今後も、一人一人に注意喚起を行い、安全就業の徹底に努めてまいります。

主たる事業概要は以上のとおりです。

現状の経済低迷において、今後も事業運営に影響を及ぼし続け、簡単には収まらない様相です。様々な制約が残り続けると予想されるなか、オールシルバー一丸となって頑張っていかなければなりません。

会員各位のなお一層のご協力の程、よろしくお願いいたします。

II 事業結果

項目	目標数値	当年度実績	前年度実績	前年比
正会員数	510名	473名	490名	17名減
安全就業	無事故	傷害事故6件 賠償事故2件 車両事故1件	傷害事故2件 賠償事故3件	—
受託事業(請負・委任)				
①受託件数	—	2,387件	2,359件	28件増
②受託契約金額	225,000千円	213,204千円	205,260千円	7,944千円増
就業実人員	—	351人	357人	6人減
③就業延実人員	—	47,418人日	47,019人日	399人日増
派遣事業				
④派遣件数	—	212件	205件	7件増
⑤派遣契約金額	40,000千円	43,072千円	39,867千円	3,205千円増
就業実人員	—	42人	48人	6人減
⑥就業延実人員	—	7,249人日	6,940人日	309人日増
件数合計 (①+④)	—	2,599件	2,564件	35件増
契約額合計 (②+⑤)	265,000千円	256,276千円	245,127千円	11,149千円増
就業延人員合計 (③+⑥)	60,000人日	54,667人日	53,959人日	708人日増

III 事業実施結果

1 会員の拡大をめざして

本年度正会員登録目標数「510名」の達成を目指して、会員・役職員が一丸となって取り組みました。

主な活動内容は次のとおりです。

- (1) 「会員拡大推進員」制度を活用し、地域性を考慮した活動と実施
 - ・「地域別訪問活動」を実施し、会員への勧誘活動に努めた。
 - 結果、2名の方が入会された。
- (2) 会員及び役員による「シルバー協力隊(取次所)」の拡大の検討と実施
 - ・事務局に事業担当推進員を配置し、円滑に活動するよう努めた。
 - ・会員48名が協力隊として取次ぎ活動を行った。
 - 結果、10名の方が入会された。
 - ・「会員紹介に対する協力者への活動費の支給」を実施
 - 結果、会員の紹介により11名の方が入会された。
- (3) 個人商店と協力関係を結ぶ「シルバー・パートナー・ショップ」の拡大と実施
 - ・事務局に事業担当推進員を配置し、円滑に活動するよう努めた。
 - ・個人商店へ訪問し、看板設置や、会員特典の協力依頼をした。
 - 結果、会員特典有の店舗4件、看板設置の店舗12件、計16件となった。
 - 又、紹介により1名が入会された。

- (4) シルバー広報板の活用
- ・現行の看板を新たなものに取替え、貼替作業の効率化に努めた。
 - ・当センターの宣伝の場として主に会員獲得を目的に PR 活動に努めた。
5月、12月、3月の3回掲示物を更新した。
 - ・当センター会員所有地（佐山双置の府道沿い）2ヶ所の巨大看板による宣伝活動をし、勧誘活動に取り組んだ。
 - ・センター事務所外壁に、四季に合わせた「会員募集宣伝幕」を取付け PR した。
- (5) 気の合う仲間と出会うための居場所の提供
- 「なんでもサロン（映画鑑賞等）」、「クラフト手芸講座」を開催した。
- ・「なんでもサロン」 3回開催 参加者延べ数 21名
 - ・「クラフト手芸講座」4回開催 参加者延べ数 51名
- (6) 会員「^{とくべつで}特・^{おとくな}得」サービスの新規内容の検討
- ・全会員へ「バースデーカード」の送付。バースデーカードを持って来所された会員にはプレゼントを贈呈した。（237名）
 - ・2024年版（令和6年）カレンダーを作製し事務所にて配布した。

内 容	同居特得	仕事依頼特得	来所特得
実 績	29組	33件	28件

- (7) 会費未納者への対応案の検討
- ・部会で検討を重ね、来年度導入に向けての準備を行った。
- (8) その他の活動
- ・巨大チェブクロー（バルーン）をイベント時に活用した。

【参考：入会者の経路】

入会経路の理由	男	女	合計
会員による紹介	2名	9名	11名
シルバー協力隊	3名	7名	10名
パートナーショップ	1名	0名	1名
センターの広報資料（立て看板・チラシ等）	7名	5名	12名
公共機関を通じて	1名	1名	2名
その他（発注者等からの紹介・再入会）	2名	3名	5名
合 計	16名	25名	41名

2 事業の拡大をめざして

本年度契約金額目標額「265,000千円」（内訳：請負・委任 225,000千円、派遣 40,000千円）を目指して取組んだが、達成することはできなかった。

また、契約が終了する企業もあったが、どのような状況でも柔軟に対応することを心掛け、その結果、昨年度の実績を上回ることができた。

- (1) 既存先と更なる信頼関係が築ける活動の実施
- ・労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律第26条第7項に基づき、比較対象労働者の待遇等に関する情報提供を基に契約した。
 - ・京都府最低賃金単価の改定に伴い、令和5年10月1日以降について、配分金単価の改定を行い契約した。
- (2) 新たな就業先の開拓並びに事業と要員の受託を目指した営業活動の実施
- ・事業部会員及び事務局による既存先への訪問を実施した。
（訪問件数：長期契約先 45社）
 - ・迷惑をかけないように、会員の就業体制等を考慮して対応した。
 - ・会員の事由による急な就業辞退の申し出に対しては、迅速な対応を心掛けた。
 - ・新規の依頼に対しては、商機を逃さないよう積極的に対応した。

(3) 会員の「クチコミ」による営業活動の実施

- ・会員からの紹介で、一般家庭の単発作業を請け負った。

(4) 久御山町等関係機関に対して新たな発注への提言及び要望活動の実施

- ・町及び議会に要望活動を行った。
- ・事務局による既存先への訪問を実施した。

開催日等	内容等
11月24日(金)	久御山町へ要望活動 出席者：理事長、事務局長、事務局
11月24日(金)	支援のお願い(町要望書写しの提出) 久御山町議会 出席者：理事長、事務局長、事務局
1月5日(金)	年始 挨拶まわり 出席者：理事長、事務局長、事務局

本年度の受託並びに派遣事業実績は次のとおりです。

【請負・委任事業実績】

区別	項目	当年度	規模	前年度	規模	前年比
公 共	受託件数(件)	409	17.13%	394	16.70%	15 増
	契約金額(円)	29,706,764	13.93%	26,544,026	12.93%	3,162,738 増
民間企業	受託件数(件)	1,472	61.67%	1,443	61.17%	29 増
	契約金額(円)	176,151,416	82.62%	170,912,692	83.27%	5,238,724 増
一般家庭	受託件数(件)	417	17.47%	457	19.37%	40 減
	契約金額(円)	7,242,930	3.40%	7,738,479	3.77%	495,549 減
ワンコイン	受託件数(件)	89	3.73%	65	2.76%	24 増
	契約金額(円)	102,500	0.05%	64,500	0.03%	38,000 増
合 計	受託件数(件)	2,387		2,359		28 増
	契約金額(円)	213,203,610		205,259,697		7,943,913 増

【派遣事業実績】

区別	項目	当年度	規模	前年度	規模	前年比
公 共	派遣件数(件)	60	27.78%	60	29.27%	—
	契約金額(円)	11,030,902	25.61%	10,584,364	26.55%	446,538 増
民間企業	派遣件数(件)	152	72.22%	145	70.73%	7 増
	契約金額(円)	32,041,646	74.39%	29,282,945	73.45%	2,758,701 増
合 計	派遣件数(件)	212		205		7 増
	契約金額(円)	43,072,548		39,867,309		3,205,239 増

3 会員の就業機会の適正化をめざして

(1) 「適正就業ガイドライン」を活用して、会員及び発注者に適正な就業方法等の周知徹底を図る。

- ・新入会員説明会時や、発注者との面談時に活用し、周知に努めた。

(2) 高齢者向け就業の確保に向けた活動の検討と実施

- ・部会で検討を重ね、来年度導入に向けての準備を行った。

- (3) 未就業会員の現状把握と就業機会の提供を図る。
- ・仕事ができない理由の把握に努め、定期的に連絡を行う等、優先的に仕事の提供を行った。
 - ・会員募集チラシを全戸に配布した。(12月)
 - ・センター事務所内の掲示板やホームページに、常時「お仕事の紹介」を掲示して、就業機会の提供に努めた。

(4) 会員のスキルアップを目指した講習会の実施。

講習会等名	開催日	受講者数
植木剪定講習会 (久御山町SC主催)	3月9日、16日、23日、30日	植木剪定班3名

【事業別会員別就業実人員数及び未就業会員数】

区別	会員数	就業実人員数 (受託)	就業実人員数 (派遣)	就業実人員数 (全体)	未就業会員数
男	264人	194人	30人	213人	51名
女	209人	157人	17人	168人	41名
合計	473人	351人	47人	381人	92名
割合	—	74.2%	9.9%	80.5%	19.5%

参考 昨年度(令和4年度)は、490人の会員に対し388人(79.2%)が就業されています。

4 職域班の充実をめざして

センターの就業は、会員の「自主・自立・共働・共助」を基本としており、より安全な作業遂行と事業効果を高めるため、事業区分に応じて職域班を設置している。

職域班の更なる円滑な運営体制づくりとして、自主的に「班会議」を開催され、現状と課題の把握に努め、班員間の意思疎通が図られ、より良い仕事ができるよう班体制の強化を進めた。

- (1) より円滑な運営体制づくりとして複合班から単体班への移行を図る。
 - ・今年度は現状維持となった。
- (2) 班長としてのやりがいを見出し、班長手当制度の導入を検討する。
 - ・部会で検討を重ねた結果、導入しないこととなった。
- (3) 後継者の育成を目的とした体制づくりの検討
 - ・次年度で検討することとなった。

5 会員間及び地域におけるネットワーク形成をめざして

- (1) 地域班の活性化についての検討
 - ・班長会議を2回(4月・10月)開催し、活動推進に取り組んだ。
- (2) ボランティア活動の実施
 - ・町内交番(2か所)周辺、まちな駅クロスピア周辺、京都岡本記念病院周辺の美化活動、及びワンコイン無料月間(10月)を実施し、地域に貢献した。

開催日等	内容等
10月26日(木)	「ボランティア活動」美化及び普及啓発活動 参加者：38名
10月(月間)	ワンコインサービス無料月間(60歳以上の世帯・1回のみ利用) 利用実績：29件

- (3) シルバー主催イベントの実施
 - ・新たなイベントも含め、実施した。

開催日等	内 容 等
10月21日(土)	シルバー・スポ・フェス 参加者：38名
11月18日(土)	紅白歌合戦 出場者：14名 観覧者：30名
12月15日(金)	会員日帰り親睦旅行（越前方面） 参加者：63名

- (4) 高齢者向け各種講座の実施（高齢者活躍人材確保育成事業の活用）
- ・デジタル講習会を開催した。（参加者数 13名）
 - ・高齢者活躍人材確保育成事業として、町広報紙（1日号）への有料広告の掲載（年間）と「日常生活支援講習会」を実施した。（セミナー参加者：一般5名、会員4名）
- (5) ワンコインサービスの継続
- ・依頼に対し、柔軟に対応した。（実績89件）
- (6) 地域住民向けへのPR活動の検討と実施
- ・ふれあい福祉まつりに参加し、クラフト手芸作品の販売及びPR活動を行った。
- (7) 独自事業の検討
- ・介入できる事案が見つからず、検討に至らなかった。
- (8) 山城地域シルバー人材センターとの連携と積極的な活動を展開する。
- ・山城地域SCとの連携を図り、活動を実施した。

主 催	内 容 等
山城拠点シルバー人材センター 連絡会	事務局職員会議の開催（計4回） 日時：8月8日(火)、10月24日(火)、12月8日(金) 3月19日(火) 会員日帰り旅行（方面） 兵庫出石方面 日時：2月6日(火) 参加者：14名

6 組織運営の改善と収支バランスの継続をめざして

- (1) 法人組織の最高決議機関である総会で、出席率の向上を図り、全会員が意思表示できるよう、引き続きその趣旨を徹底し、周知の具体策を徹底する。
- ・定時総会については、当日の出席者の増員を目指したが、まだ参加を自主的に控える傾向もあり、出席率の向上には至らなかった。
- 6月9日(金)に開催された定時総会は、構成員総数447名の内、出席者は会員24名（役員14名）、委任状提出者282名、書面評決提出者6名、出席者合計312名（役員含まない）で、出席率は69.8%という結果であった。
- (2) シルバー事業の課題等を、委員会及び各部会で十分な検討を行い、取り組むことで理事会機能を充実させるとともに、法人運営や財政面等の効率化と適正化を図る。
- ・委員会及び各部会を基本毎月開催し、常にシルバー事業の課題改善に取り組んだ。
- (3) 第2次中期事業計画の目標達成に向けて積極的に取り組む。
- ・一丸となって取り組んだが結果、達成には至らなかった。
- (4) 安定的な事業運営の継続を図るため、久御山町等機関に対し、財源確保の要請を強く行う。
- ・町及び議会に要望活動を行った。

開催日等	内 容 等
10月4日(水)	京都府へ要望活動 出席者：理事長、事務局長
11月24日(金)	久御山町へ要望活動 出席者：理事長、事務局長、事務局
11月24日(金)	支援のお願い(町要望書写しの提出) 久御山町議会 出席者：理事長、事務局長、事務局

- (5) 収支バランスを保つため、基盤づくりの見直しを図る。
- ・契約金額は目標値を下回ることとなったが、支出においては、必要最小限の事業

遂行に応じ、適切に対応した結果、昨年度より収益増となり、将来必要となる資金の準備を着実にを行った。

- (6) インボイス制度導入によって生じる新たな経費負担の検討を行い、実施する。
 - ・決定した方針を、関係先及び会員へ周知し、インボイスに対する財源を確保した。
- (7) 事務局体制について、事務の適正化や効率化の推進に努め、職員の育成を積極的に図り、管内及び管外の職員研修会・講習会等に積極的に参加し、研鑽に努める。
 - ・事務局体制の安定を図ることに努め、運営に支障がないように取り組んだ。
 - ・管内・管外の研修会・講習会に参加した。

開催日等	内 容 等
5月23日(火)	令和5年度京都府企業内人権問題啓発セミナー (出席者：事務局長)
6月9日(金) ～23日(金)	シルバー事業情報交換会議(オンライン会議) (参加者：事務局3名)
7月24日(月)	令和5年度「安全・適正就業推進大会」 (出席者：理事長、役員4名、事務局)
8月14日(月) ～27日(日)	会員拡大・就業開拓担当者会議(当センター事例発表)(オンライン会議) (試聴者：事務局5名、役員14名) 事務局長が発表
8月17日(木) ～22日(火)	(NRI) 社会情報システムユーザー研修会(オンライン研修) (出席者：総務課長、事業課係長、事業課主事、総務職員)
8月21日(月)	令和5年度近シ協管内事務局職員研修会 (出席者：事業課係長、事業課員2名)
9月6日(水)	安全運転管理者講習会 (出席者：事務局長)
11月2日(木)	令和5年度京都府企業内人権問題啓発セミナー (出席者：事務局長)
12月4日(月)	派遣事業担当職員会議 (出席者：事業課係長)
12月18日(月)	令和5年度事務局職員(会計担当)研修会 (出席者：総務課長)
1月16日(火)	人権啓発研修会 (出席者：事務局長)
1月17日(水)	岐阜県美濃加茂市SC視察受け入れ(理事長、理事、事務局2名) (出席者：理事長、副理事長、事務局長、総務課長、事業課係長)
1月19日(金)	令和5年度中南部地域拠点シルバー職員交流会 (出席者：事務局長、総務課長、事業課係長、事業課主事)
1月22日(月)	課題としてシルバー人材センターを取り上げておられる大阪商業大学(豊山ゼミ)の方が、状況把握のため来社(対応：事務局長、事業課係長)
1月29日(月)	令和5年度補助金業務担当者会議 (出席者：総務課長)
2月13日(火)	人権研修会(府シ連主催) (出席者：役員6名 事務局2名)

開催日等	内容等
3月 1日(金)	訪問コンサルティング会議 (オンライン会議) (出席者：総務課長)

IV 安全就業をめざして

"安全は、就業の全てに優先する"を合言葉に、無事故を目指し取り組みましたが、残念ながら事故が発生しました。

- (1) 「安全就業担当推進員」制度の見直しを図り、より安全就業への意識の向上を図る。
 - ・「安全就業担当推進員」を9名に委嘱し、安全意識の向上に努めた。
- (2) 安全就業に関し、「報告・連絡・相談」を徹底し、早期解決に努める。
 - ・就業者全員に、就業前の「体調確認」(自己診断)及び、就業中等の「ヒヤリ・ハット」を記載する「安全就業チェック表」の提出を義務付け、日常の安全管理に努めた。
- (3) 安全就業大会の実施
 - ・安全就業大会の開催 (2月16日(金)開催：出席者25名)
内容 事故防止について
講師 マーシュ総研株式会社 TRM 営業本部マネージャー 中尾 久和 様
株式会社 ベストインシュアランス 中島 重昭 様
 - ・(公社)京都府シルバー人材センター連合会主催「安全・適正就業推進大会」への参加 (7月24日(月)、理事長、事務局他)
 - ・「安全・適正就業大会」に伴い、会員より安全標語を募集し、2作品を推薦した。
「愉快地楽しく働く喜び 無事故から」(H氏)
「さあ仕事始める前の 再確認」(S氏)
- (4) 安全就業パトロールの実施
 - ・10月の間、部会員及び事務局担当者が「安全就業パトロール」を実施した。
10月13日、20日、25日、27日 (8ヶ所で実施)
各現場とも、安全就業に対する意識はみられたが、不安全な状態での作業や、一瞬の気の緩みで、大事故に繋がる恐れのある現場もあったので、その都度、就業会員には安全に作業するよう指導した。
- (5) 安全だよりの発行
 - ・年4回発行し、会員に配布した。(4月、7月、11月、1月)
- (6) 安全保護具の強化
 - ・安全帽、ヘルメットなどを確保した。
 - ・作業機械等の不具合や故障に対し、可能な限り迅速に対応した。
- (7) 会員の自主的な健康診断の受診勧奨
 - ・今後、「事務局だより」などで周知する予定である。

【傷害事故報告】 事故6件

発生月	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	保険受取金
2月	73	男	午前	就業中	店内倉庫に荷物を入れた後、台車を片付ける際に躓き転倒し、右肩を強打した。 右肩打撲 通院1日	2,000円
2月	77	男	午前	就業中	作業に必要なカートを運搬中に転倒し、右膝を機械に強打した。 右膝膝蓋骨骨折 入院8日 通院8日	75,500円

発生月	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	保険受取金
3月	75	女	午前	就業中	通路に段差があり、左足でまたいだところ、着地したところの鉄板に足を取られてしまい、左方向に転倒した。 左腕打撲、左足大腿骨頸部骨折 入院21日・通院25日	1,943,000円
5月	72	女	午前	就業中	清掃中、ほうきを取った際に壁から出っ張っているボルトの尻部分に左前腕を強打した。 左前腕打撲 通院1日	2,000円
7月	79	女	午前	就業中	両手でボックスを持って移動させた時、少し先に置いてあったボックスと接触して2つのボックスの隙間に左手が挟まり負傷した。 左手首の骨折 通院9日	22,400円
8月	83	女	午前	就業中	移動途中で機械が出てきて、頭部を強打した。	8,000円

【賠償事故報告】 事故2件

発生月	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	弁償金
8月	71	男	午後	就業中	カート整理作業中、お客と接触した。	298,594円
10月	84	男	午前	就業中	カルマーで除草作業中、防犯カメラの配線を切断した。	37,290円

【車両事故報告】 事故1件

発生月	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	弁償金
1月	81	男	午後	就業中	公用車を駐車場の枠内に入庫する際、後方の駐車車両に接触し、破損させた。	587,444円

【参考：過去5年間の事故発生状況】

(単位：件)

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
傷害事故	6	2	2	2	1
賠償事故	2	3	2	2	0
車両事故	1	0	1	2	2
合計	9	5	5	6	3